

第4回ノアンフェスティバルショパンインジャパンピアノコンクール 受賞者体験レポート～ショパン・ナイト 2024 編～

神宮司 悠翔さん

A1 部門 第2位、ショパン・ナイト受賞 2024年10月渡航

どことなく不安を覚えるような鬱蒼した森を抜けた先に見えた景色は、全く想像していないものでした。そこにあったのは、温かく僕を迎え入れてくれるような佇まいをして静かにそびえるノアン城でした。



コンサートの前日に初めてこのノアン城に足を踏み入れた瞬間、城内の雰囲気は圧倒されました。外観もちろん素晴らしいのですが、なんと調和の取れて趣のある美しい内装なのでしょう。日本で生活している時には感じたことのない空気感が、そこにはありました。

そこに溶け込むように置かれていたのがプレイエルのピアノです。そこから流れ出る旋律を思い浮かべたのとは裏腹に、想像していた音色と異なる音色で、僕は最初戸惑い、不安を覚えました。

しかしマスターレッスンでは、アンリ先生がとても優しく、かつ丁寧に教えてくださいましたので、徐々に僕の手や耳が馴染んできたのか、楽器に対しての恐れも少しずつ和らぎ、レッスンに集中することができました。

レッスンでは、ショパンの曲への違った見方がまだ何通りもあるのだと気付かされ、一生忘れることのないとても良い経験となりました。

コンサートでは、想像以上にたくさんのお客様に来ていただきました。夜の帳が下りる頃、ポツポツと灯りが灯り始め、いよいよコンサートの開演です。また、ステージ上にはまるでショパンの命の燈が揺らめいてるかのようろうそくがたくさん並べてあり、ショパンがこの場に舞い降りてきたかのような空間でした。

自分の演奏についてはまだまだ改善点が見つかりましたが、皆、温かく拍手してくださったり、声をかけてくださったりと、本当に幸せな時間となりました。

その後は、待ちに待ったディナーの時間です。そこでは、フランスでしか食べることのできない料理をたくさん食べたり、自分のつたない英語で地元の方々と会話したりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今回このような思い出を作ることができたのも、アンリ先生、現地の方々、ベヒシュタイン・ジャパンの方々のおかげです。本当にありがとうございました。

また、いろいろな面で助けてくださった田中さんや、海外から参加した方々にも、心より感謝しています。

このような体験ができるコンクールはなかなか無いと思いますので、これからもできるだけたくさんの方々がこれらの体験をできることを心より願っています。



第5回ノアンコンクールは2025年4月25日～27日開催。
お問合せは competition@bechstein.co.jp まで

